

本報

こすど

毎月第三日曜日は
家庭の日です
一室をこく
十こまじまじよう

町制施行80周年を祝う

盛大に記念式典

功労者・永勤者の表彰等

多彩な催しを

町制が施行されて八十周年を迎えた本町では、全町民のうちに記念式典を盛大に迎えています。
第二十四回文化祭を中心として、各種体育行事、特に今回は町民体育館の竣工と併せて開催されますので、多彩な行事に全町民にきやかにしたいものです。

町制八十周年を

迎えるにあたり

町長 五十嵐 重雄



小須戸町に町制が敷かれて八十周年、その記念式典を華やかな文化の日に行うにあたり、まずこの町を創られた祖先に心からお礼と感謝を捧げるものであります。

昔が小須戸町の生い立ちには古く、その歴史は明らかではありませんが、信濃川の水運に恵まれて栄え、運年の洪水や大火で辛難をなめ、鉄道が山手に迫りやがて信濃時代等々、栄枯盛衰は多くの明暗を織りなして今日に到っております。
しかし、その時代時代の先賢が精一いつぱいの

努力をなされた遺産が、今の小須戸町であります。現在の形骸だけでなく、十年一日の如く変化の激しい町という印象が一般にもたれているのではないかと感じます。
産業に文化を取り立てていくものではなく、ただ時流の変化と進歩に伴った自然的な変化だけで、見方によっては先業のいう明治大正の時代が活気があり、華やかだったかも知れないのであります。

だが、二十年前の六十年記念を挙げた当時と現在を比較すると、環境に大きな進歩と発展を見出すことができます。
昭和二十五年の六十周年記念行事の座談会に、道路の舗装、塵芥処理場の設置、火葬場の改造等

二十、自然の中で二十分この小須戸町が、山と河があり、緑と空気のきれいな郊外の住宅地として、栄えるものと確信しております。
町の歩みにも古今の人生の歩みのように起伏があるとするなら、小須戸町はこの八十周年を飛躍台として、町勢の伸展が期待されます。そのためには全町一致、郷土愛に精進して、小須戸町の伝

統を先人の遺産を守って協力進歩する覚悟を、お互いに新たにするのであります。
町制施行の記念式典についての賛意もございませぬが、十年ごとに自らの歩みを振り返り、前年の誓いとすると共に、十年を一と節とする町の歩みに節度をつける意味も含め町民体育館の竣工祝いを兼ねて、実施したものであります。

第24回文化祭

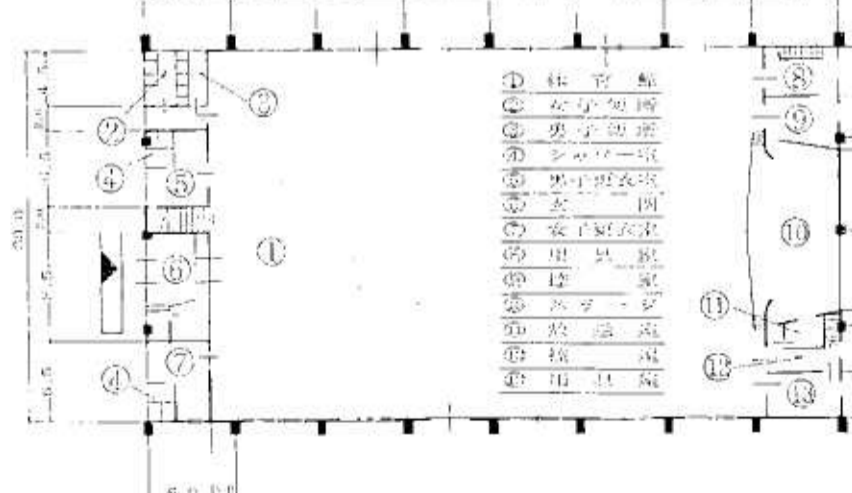
11月1・2日に3会場で

—各種展示を中心に—

- 十一月一日(日) 町民体育館にて 町民体育館竣工祝、町民体育館竣工式典、文化祭共催各種体育事業をふくめて、十一月一日の両日開催します。
- 十一月三日(日) 町民体育館にて、町制八十周年記念式典および町民体育館竣工式典、新しい町民体育館で開かれます。
- 十一月三日(日) 町民体育館にて、町民体育館竣工式典、文化祭共催各種体育事業をふくめて、十一月一日の両日開催します。
- 十一月三日(日) 町民体育館にて、町制八十周年記念式典および町民体育館竣工式典、新しい町民体育館で開かれます。

十一月は文化の日を中心として、毎年文化祭を開催してきており、今年で24回目を迎えます。
今年も町制八十周年記念式典と併せて、町民体育館竣工祝、文化祭共催各種体育事業をふくめて、十一月一日の両日開催します。

またこの利用については、申込みは町の教育委員会に申込み、利用することになります。十一月十日、十一月十一日、十一月十二日は全部利用申込みがなされているということです。
また、利用については申込みは町民体育館に申込み、利用することになります。十一月十日、十一月十一日、十一月十二日は全部利用申込みがなされているということです。



町民の広場に
長年の願い 稔る
記念に 多湖先生講演

数年前に町民体育館を作らうと、声がかかって今年八月三十一日、全町民が喜んでいた町民体育館が完成しました。
場所は、すでに皆さんご承知の中学校のとなり生徒のみなさんが、ゴミプールとよんでいたあの場所でありました。

昭和四十四年度決算統計による、一般会計決算の繰入、地方交付税のうちの特別交付税六、六六四、八、一三〇の間違いでありますので、訂正しお詫びいたします。

川一小河、本田、渡邊、天ヶ沢、矢代田、全山、湯ヶ沢、うでこぎ、中学校前(決勝場) 中学校前(決勝場)

演題は「ハッキリしません、現代社会の世相(断絶社会)の特色に對処するには、いかにしたらよいか等の、広い範圍にわたる、盛り沢山の内容を、ムーブをまじえて、わかりやすくお話しされる予定です。

財政事情の公表について
お詫び
昭和四十四年度決算統計による、一般会計決算の繰入、地方交付税のうちの特別交付税六、六六四、八、一三〇の間違いでありますので、訂正しお詫びいたします。

若さの結集

—活発化してきた青年団—

最近の青年団活動を見ていると、非常に熱心で、非常に大きな成果を上げてきている。青年団としての活動は日進月歩で、四十名の団員を擁して、町部ウデツキ、成川、小向、水田、新保、鎌倉の七地区の青年で構成されている。男子六十八名、女子三十二名と、や、女子団員の少ないのが活気のよさだ。

特に去年一年間は、新しい形の青年団を組織し組織の再編成に重点を置くなど、団員相互の結束を図ることを目的として活動してきた。そしてその目的はほぼ達成された。前団長の高田武蔵氏は語っている。

特に昨年度では「町青年団活動研究委員会」(町青年団)を組織し、町青年団の活動の中心として活動してきた。町青年団の活動の中心として活動してきた。町青年団の活動の中心として活動してきた。

長寿者紹介(三)

いつも笑顔で 無病息災

小須戸 森田くせさん九十四



三番町、森田家の森田くせさん、明治十年五月二十日生まれで九十三才五カ月であるが、一見七十才にも満たないと思われる若々しさ。

高田くせさん九十四



明治十年八月十八日生まれで九十三才二カ月、早稲次郎の次女として生まれている。昔の百才が頭いっぱい、しわでもうかがわれるが、現在は幸せそのもので満ち足りた毎日。

十二月のクリスマス前後を目標に、毎週二生けん命に練習を行なうなど、年間を通じて活発な活動を行っている。

一方、体育関係のレクリエーションと併行して白根地区青年団と交流会を行ったり、各種のレクリエーションに積極的に参加するなど、学習の面でも力を注いでいる。特に次期リーダー育成するため、独自のプログラムでリーダー研修会を計画している。

四十五年年度計画で町記すべきは「社会の中の青年団」を目標としていることである。その第一段階として「町民大運動会」を計画し、町民大運動会、体育協会等と協力して、公民館を中心として開催している。他に文化祭行事の参加等、盛りだくさんの行事を計画し、事業の完全な活発化を目指している。

県大会で2位に 庭球部

中学4クラブ出場

中学校のクラブ活動がその実力を遺憾なく発揮し、八月の県大会には四つのクラブが地区予選を勝ち抜き、県大会に出場したが、これも予選で敗れ、決勝に臨むことができなかった。

このように四つのクラブで県大会出場となつたのは、近來まれにみるべきことで、今後いよいよ活躍が期待される。

県大会出場にあたっては、関係機関より多大の援助が協力されたこととお知らせすると共に感謝いたします。

なんでもどうぞ

行政相談開設

本年も全国一斉に行政相談週間を実施することになりました。

相談の中には、こういう方はいらっしゃいますか。

役所の仕事について、チャイコやってもらいたくありません。

不親切な扱いを受けた。

どうも納得できない。

どうしてよいかかわらない。

こうしてほしい。

など役所に対して苦情や要望や意見があるが、どうも役所には申し出にくい。

銃砲刀剣類の登録審査会案内

銃砲刀剣類登録審査会が毎月開かれておりますので、未登録所持者は当日会場に出席し、登録する必要があります。

（新郷検査審査会 事務局）

交通安全

母の会にご加入を

あーと思

母親であれば、誰でも入会できます。

会費 年額三十円

申し込みは役場へお気願にどうぞ。

※年に一回、各部落役員が会費徴収にまわっていますが、本年入会もされた人は、積極的な入会をお願いします。

とどまるところを知らない、交通事故の増加に怒りを覚える最近です。交通安全推進団体の諸活動が、人の見えていない道路にならないよう、交通安全運動を家庭の中からもあげましょう。その役目を果たすのが私たち母の会です。

うぶ声

- 五月一日より
- 七月三十一日まで
- 西村 仁源之千雄
- 吉田 貴子 徳次 天ヶ沢
- 増井 浩和 郁夫 矢代田
- 片岡 潤 英一
- 五十嵐隆之 安作 桜木町
- 中野直子 三郎 矢代田
- 高山 篤志 福義新 保
- 木村 秀子 記一郎 水田
- 吉井 博幸 勇 新保
- 山崎 博之 実
- 西村 恵子 明男 矢代田
- 山田 修治 均 磯町
- 野崎 陽子 美英 横川
- 川村貴子 賢太郎 山吹町
- 竹石 啓子
- 長沢久美子 熊市 横川
- 佐藤 陽子 豊一 三ノ町
- 四脚 政幸 清栄 ヲツ
- 相馬 聡子 哲也 出雲町
- 川中美智代 美津雄 磯町
- 河内 実五郎 水田
- 丸山 隆松 天 新保
- 渡辺 薫一 由 磯町
- 星井 英世 春雄 土堤町
- 長井麻利子 清美 矢代田
- 田中 智子 重昭 三ノ町
- 加藤 美行 謙
- 川瀬 光代 敏彦 新保
- 藤井 克則 義雄 東町
- 高橋 明徳 謙 上田町
- 鈴木 昌忠 密栄 雁巻
- 吉川 英一 英一 新保
- 白井留美子 秀治 横川
- 加藤由紀子 十門 学校町
- 本多 明美 岩男 矢代田
- 加藤 啓四郎 神町

おめでとう

- 七・八月中
- 鶴山 武志 和子
- 伊藤 敏秋 久美子
- 日井 辰平 静子
- 石倉幸二郎 留美子
- 吉田 広次 マツイ
- 能合 帯 千代子

おくやみ

- 六月・八月中
- 関口ノリ子 四ノ町
- 木村キヨ子 ヲツ
- 時田徳子 学校町
- 吉木彰一 二ノ町
- 小松久次郎 新保
- 増井久三郎 矢代田
- 近藤たけ子 上田町
- 小川キヨ子 ヲツ
- 高橋 明子 上田町
- 川瀬 栄吉 磯町
- 森田末吉 三ノ町
- 石田勝子 東町
- 白井由夫 磯川
- 一本鈴イト 四ノ町
- 丸山 清子 新保
- 長谷川トイ 磯町
- 水沢政治 88
- 加藤 啓四郎 神町

自衛官募集

防大生航空学生の看護学生

自衛隊生等各種生徒を募集中

お問い合わせは

新潟市船橋町二丁目三四三三

自衛隊新潟地方連絡部 募集課へ

TEL 新潟四三三三三番